

美作地域における小中学校及び公民館等における

放課後等学習支援の取組

芦田 愛五

1 はじめに

小学校長を退職し美作大学で教鞭をとって丸7年が過ぎようとしている。その間、美作地区の多くの小・中学校、公民館に放課後、土曜日及び夏休み等に学習支援ボランティアとして学生がかかわれるようにコーディネートしてきた。

この取組を始めたきっかけは、津山市教育委員会学校教育課主催の「ホリデーわくわくスタディ」であった。ちょうど美作大学に勤め始めた平成23年の夏、津山市教育委員会から、学習支援ボランティアとして美作大学の学生にお願いできないかと要請を受けた。そこで、私も学生に同行して津山洋学資料館、津山郷土博物館、津山高専、アルネ等あちこちで行われる学習支援に出かけて行った。その後さらに、勝央町・奈義町・鏡野町等の学習サポート事業にもかかわり、学習内容の確実な定着と児童・生徒の学力向上を図ることを目的として、放課後等に補充的な学習を実施している学校の先生方に協力してきた。学生は、学校現場で先生方と一緒に指導することで多くのことを学び実践を積むことができた。また同時に、学生の新鮮な熱い思いで指導する姿が、学校の先生方の忘れかけていた情熱を奮い立たせるものにもなった。

そこで、平成26年度から28年度までの3年間は、福武教育文化振興財団よる「大学が地域と連携して行う活動」として、「大学と地域の小・中学校との連携による『放課後等学力補充』」の助成をいただき、主に津山市教育委員会（生涯学習課）・鏡野町教育委員会と連携をして学校支援本部事業や放課後学習サポート事業の一環で小・中学校、公民館での学習支援をしてきた。

今後も引き続き継続して支援して欲しいと要望もあり、平成29年度は、地域生活科学研究所の活動助成を受け、引き続き津山市教育委員会・公民館及び鏡野町教育委員会等と連携し、学習支援に取り組んできた。

2 取組について

(1) 小中学校での取組

はじめにでも述べたが、美作大学の児童学科が津山市教育委員会と連携しながら放課後や土曜日に学習支援としてこのようなサポートができるようになったのは、平成23年度からである。津山市を中心とした県北の地では、すべての小中学校が児童・生徒の学力向上を目指して、教育課程外の補充学習の様々な取り組みを展開するようになってきた。これらは、「放課後学習サポート事業」「学校支援地域本部事業」等の事業として行われているところなど様々である。

平成29年度は、津山市立東小学校、津山市立秀実小学校、津山市立鶴山中学校、津山市立津山東中学校、鏡野町立南小学校、鏡野町立鶴喜小学校に学習支援に出かけた。

小学校では、低・中学年の算数の学習がほとんどであるが、児童の実態・要望により国語の漢字等の指導も行った。また、学習支援以外にも、津山市教育委員会生涯学習課から学年PTA活動「親子のふれあいお楽しみ会」で運動遊び等を指導して欲しいとの要望があり、津山市立新野小学校に出かけた。親子が力を合わせて取り組んでいる姿を見ていると、これは大いに家庭教育支援にも貢献できると感じた。

中学校では、高校受験に向けての3年生への5教科の補充学習と1・2・3年生の基礎的・基本的な学習の定着のための補充学習である。学校が準備した過去の入試問題プリントに取り組んでいる生徒や、学校で一括購入した問題集を自分で持参して取り組んでいる生徒等様々である。一人静かにこつこつと問題に挑む生徒の姿やわからないところを教え合う生徒同士の姿、先生方の一生懸命に説明している姿は本当に真剣そのもので感動的だ。また、ボランティアの学生も生徒と頭を並べて一緒に解いている姿もほほえましいものだ。

残念ながら、今年度はうまく日程調整等ができず、久米南町の3小学校、津山市立北陵中学校、鏡野町立鏡野中学校には要望に添えなかった。

(2) 公民館での取組

地域全体で教育を支援する体制作りを進めたり、地域の中で子どもと大人の交流を増やすことを通して地域教育力の向上とコミュニティ作りにつながるよう心がけている。津山市の公民館では、平成27年度から生涯学習課と協力・連携し、公民館を会場として貧困家庭対応策の一つとして「子どもの居場所づくり」及び「学習・体験教室」を特に夏休みを中心に行っている。以前から自主的に取り組んでいる公民館もあったが、29年度は「公民館での中高生の出番作り」を実施し、年々より充実した取組が行われるようになってきた。

この公民館での活動の趣旨は、地域住民が地域全体で子供たちの成長を支えるために、公民館に子どもたちを集め、「学習支援」「子どもの居場所づくり」「まちづくり」「家庭教育支援」「学校支援」を行っていくことである。土曜日、夏休み等を利用し、公民館を会場に地域住民が、地域在住の退職教職員や大学生・中高生などと協力しながら、誰でも参加できるようにして宿題やプリント学習などによる学習支援及び体験活動の場を設定している。また、津山高等専門学校、津山工業高校等にも協力いただきながら、天文教室、工作等の体験教室も併せて開催することもある。地域住民の居場所づくり、人間関係づくり、児童・生徒の学力向上に、美作大学の学生も貢献している。

3 取組の実際

秀実小学校 放課後学習の様子

平成29年10月30日(月)



児童の反応をうかがいながら丁寧に



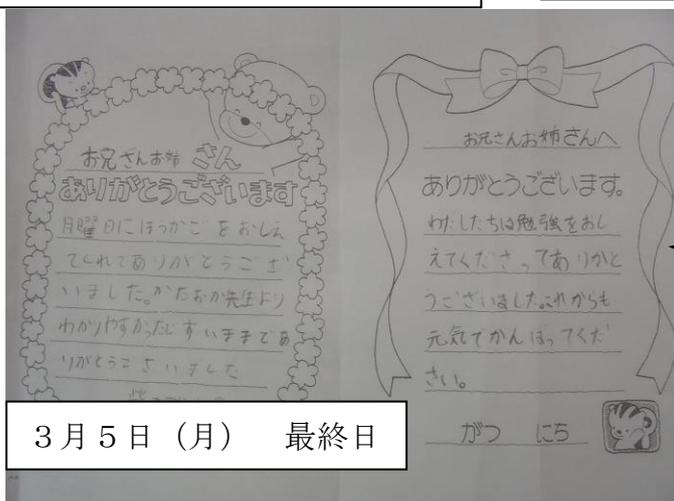
隣の児童が一人でやっている間に



担任の先生も一緒に1対1で個別指導



少人数6人に一齐にプリントの問題を



3月5日(月) 最終日

児童からお礼の手紙を
もらいました。

津山東中学校 放課後の学習の様子

平成29年12月 7日 (木)



副校長先生から紹介される3人の学生

先生方と一緒に個別指導



先生も学生も生徒にしっかり寄り添って

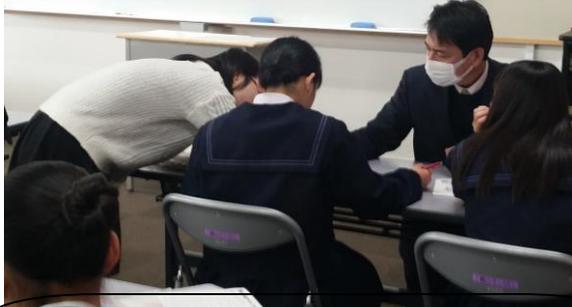


分からない問題には、丁寧に1対1で個別指導。生徒も真剣に取り組んでいます

鶴山中学校 放課後の学習の様子

平成30年2月24日(土)

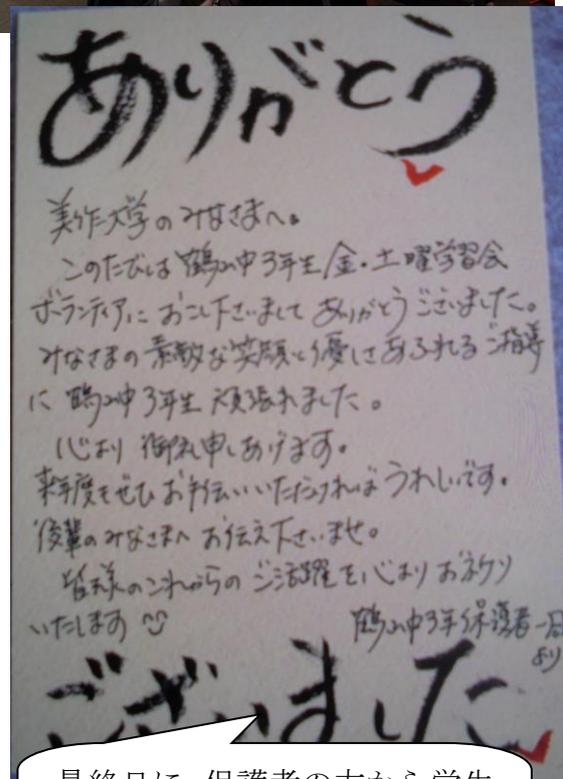
しっかりと生徒に寄り添って



卒業生の男子高校生もボランティアに参加し、後輩の指導に



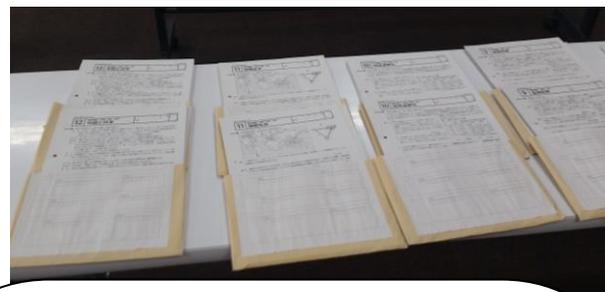
後ろの2人のお母さんが受付役をしながら生徒の頑張りを見守っています。



最終日に、保護者の方から学生にお礼の色紙をいただきました。とても温かいお言葉です。



まもなく高校入試
先生方と一緒に個別指導



後ろには、学校が社会科の問題と解答を準備。これらにも挑戦してみよう。

河辺公民館 夏休み学習の様子

平成29年8月7日（月）～10日（木）



各自 夏休みの宿題プリントなどに自分の課題に取り組む子ども達



学習支援ボランティアは、地域の方々、大学生、高校生、中学生と幅広い。

津山市教育委員会生涯学習課鈴木主幹もじっと、子どものプリントに目を向けています。

分からないところは、近くの先生を呼んでヒントをもらいます



学生の手づくり教材等

①学校が はじまる 時刻と ねる 時刻を 書きましょう。

学校が はじまる 時刻 8時30分

ねる 時刻 5時30分

②午前は何時間、午後は何時間ですか。

午前12時間 午後 12時間

③1日は何時間ですか。

24時間

ヒント：1日は、午前と 午後を 合わせた 時間だから...

まとめ

午前は(12)時間、午後は(12)時間、
1日は(24)時間である。

ほうかご がんばりタイム

15時00分～15時05分 **じゅんび**
・えんぴつ ・けしごむ ・しゅくたい

↓

15時05分～15時10分 **おはなしタイム**
・きょうの しゅくたいは なんだろう？
せんせいに つたえよう。

↓

15時10分～15時40分 **がんばるタイム**

① まずは、ひとりで 1分間 考えよう。

② どうしても わからない時は
しずかに 手を あげましょう。

※せんせいは 1人しか いません。

じゅんばんを まつことも あります。

がんばる人をおうん します!!

12/15	○	○	○
12/14	○	○	○
1/11	○	○	○
1/12	○	○	○
1/15	○	○	○
1/17	○	○	○
1/22	○	○	○
1/25	○	○	○
1/27	○	○	○

すじい!!よくがんばりました

冬休み たのしかったこと カード

○ 冬休みに たのしかったことは 何でしたか?

やさがきたプレゼント

○ 一番たのしかったことは 何でしたか? *クリスマスプレゼントをもらったの?*

クリスマスプレゼント

○ どうして、それが一番たのしかったのですか?

大好きなプレゼントがきたから

1月は、先生と

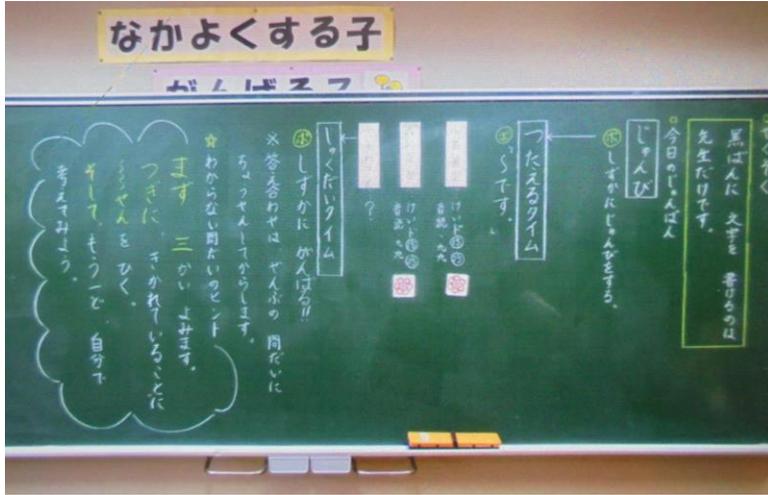
もずがねてんきょうちゃん

をがんばります!

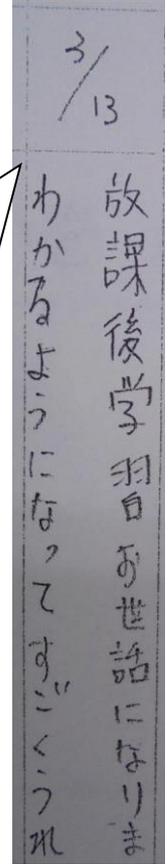
たとえば、
ここの かんじプリント
集めるの 文しよもんだい
しずかに、

夏と冬がしずかに
がんばれる よう先生も
いっしょにがんばりますご
1年いっしょ おきまにならな
いしていただきます!

学生ボランティアが板書した児童との約束

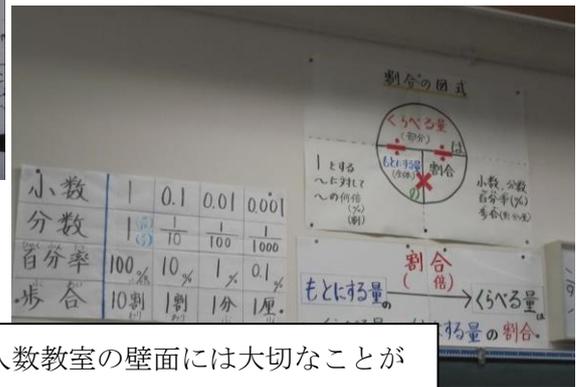
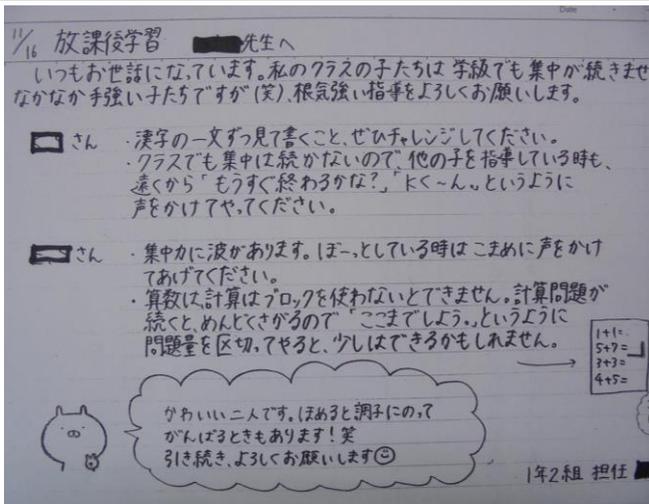


保護者からのお礼の手紙

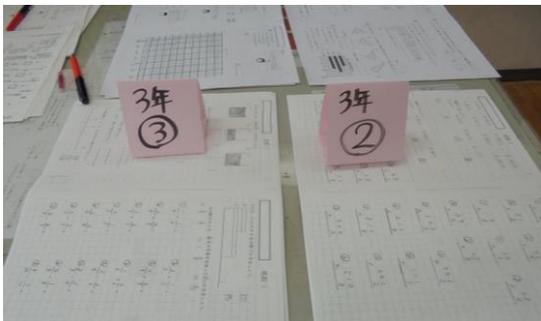


放課後学習お世話になりました。すごく助かりました。わが子も勉強が分かるようになってすごくうれしそうです。ありがとうございます。

担任の先生から学生にいただいたメッセージ



少人数教室の壁面には大切なことが



4 これまでに学習支援等に出かけた小・中学校及び公民館

【小・中学校・・・15校】

津山市立東小学校、津山市立弥生小学校、津山市立高倉小学校、
津山市立高田小学校、津山市立成名小学校、
鏡野町立南小学校、鏡野町立鶴喜小学校、
勝央町立勝間田小学校、勝央町立勝央北小学校、
津山市立津山東中学校、津山市立北陵中学校、津山市立鶴山中学校、
奈義町立奈義中学校、鏡野町立鏡野中学校 美作町立作東中学校

【公民館・・・8館】

中央公民館、河辺公民館、一宮公民館、大崎公民館、田邑公民館、二宮公民館、
城西公民館、高倉公民館、

◎今年度実績

東小学校 10月～3月・・・10回
秀実小学校 11月～3月・・・9回
鶴山中学校 11月～2月・・・10回
津山東中学校 12月～2月・・・4回
鏡野南小学校 1月～3月・・・9回
鏡野鶴喜小学校 1月～3月・・・11回
新野小学校・・・10月・・・1回
河辺公民館 8月・・・4回
院庄公民館 12月・・・1回
城西公民館 4月～3月・・・12回

5 参加した学生の感想及び成果

- ・児童・生徒の頑張る姿を身近に見られて、とてもやりがいを感じた。
- ・問題が解けたときのその瞬間の児童・生徒の表情を見たときに感動を覚えた。
- ・「なるほど!」「そういうことか!」という児童・生徒のつぶやきがうれしい。
- ・児童生徒の学力向上、学習習慣の定着に貢献できたことがうれしい。
- ・学校の先生方の真摯に児童・生徒に向き合う姿勢に感動した。
- ・自分自身の指導力向上につながった。学習に遅れがちな児童の指導に今後の学校現場で生かしたい。
- ・小学校で学習した内容が中学校での学習につながっていることが学習支援ボランティアをしてみて、よくわかった。小学校での基礎学力をきちんと身につけさせ

る大切さを実感した。

- ・地域の方々の様々な支援にとっても感銘を覚えた。
- ・地域の方々と連携・協働の大切さを実感した。学校に勤務するようになったときに活かせる。
- ・鶴山中学校のように、保護者が生徒のためにボランティアとして先生方に協力している姿に感動した。
- ・児童の実態に応じて少人数で指導できたので、学生が予め、問題プリントや頑張り表を作成したりして臨めた。そのこともあって、児童はやる気を出して頑張った。
- ・児童や保護者からのお礼の手紙や色紙は、「やってよかった」という感慨深いものだった。

6 反省と課題

- ・学校側等の希望される日程、時間帯と学生の空き時間の調整がうまくできなかった。

津山市立北陵中学校、鏡野町立鏡野中学校には希望に添えなかった。

鏡野町立鶴喜小学校では、スクールバスの関係で指導時間がどうしても限られる。もう少し、時間が取れる方法はないだろうか。

- ・小学校においては、東小学校や秀実小学校のように、児童の実態に応じて少人数で指導するほうがより充実した指導ができるのではないか。
- ・鶴山中学校のように先生が土曜日に出勤しての取組は、働き方改革のことを考えると先生方の負担も少なくないのではないか。今後は、教員がいなくても実施できる方法を模索したい。
- ・交通手段として自家用車がないと行くのが困難な遠距離が多い。タクシーの使用は有り難い。しかし、毎回というわけにはいかない。
- ・自家用車を持っている学生に便乗して行っているが、交通事故の不安がある。
- ・中学校の理科や社会の指導が困難である。前もって勉強しておかなければならない。しかし、採用試験の勉強にもなるので一石二鳥でもある。

7 終わりに

平成28年3月に岡山県社会教育委員の会議で提言された『「地域の中で輝く中高生の出番づくり」～地域への愛着心・自己肯定感の向上を目指して～』では、子ども達の健やかな成長には、地域からの学校・子どもへの支援にとどまることなく、中高生である若者が地域で活躍できる機会を創造することが必要であると述べている。それらを受けて津山市教育委員会では、前述の「中学生・高校生の公民館への受け入れ」を促進し、各公民館は彼らを受け入れた活動を実践してきた。また、小中学校におい

でも卒業生を学習支援ボランティアとして迎える学校もあった。

さらには、この美作地区管内でも、「地域学校協働活動」が実施されるようになり、津山市教育委員会生涯学習課も推進体制を整え各公民館においても、それぞれの学校及び公民館等の地域が協働して特色を活かしながら推進していく取組が見られるようになってきた。

これらの取組に小学校教員を目指す美作大学の学生が、地域の人材として学習支援ボランティアとして貢献できるのはありがたく有益な時間である。また、地域の子も達にとっても、年齢が近いお兄さん・お姉さん先生である学生に教えてもらったり、遊んでもらったりするのは、大きな楽しみでもある。

学生の交通手段や空きコマの関係等でボランティアに参加し難い課題等も多々あるが、今後も引き続き教育委員会、公民館、小中学校と連携して学習支援や公民館における子どもの居場所づくりに学生を参加させたい。

